

地方の安全・安心に向けた治水事業の促進

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

安全で安心できる暮らしを支えるために、河川整備が遅れている地域への優先的な投資を図るよう提言します。

また、個別ダムの検証においては、検討主体からの検討結果を尊重して、速やかに補助金交付等に係る対応方針の決定を行っていただくよう要望します。

【政策提言の具体的内容】

- 本県は、全国有数の水害被害県であるにもかかわらず、全国でも最下位クラスの河川整備率であることから、安全で安心できる県土づくりに向け、治水施設の整備を優先的に推進することが必要です。
- 整備にあたっては、地形や土地利用などの地域特性を十分勘案して、早期に事業効果が発現できる事業に集中投資することが必要だと考えます。また、その際には、地域の合意形成や地元からの整備促進に対する要望などを十分反映した整備を進める必要があります。
- 国から検証を要請されている県のダム事業についても、治水や利水面の課題を解決するために、地域の強い要望のもとに進めている重要な事業です。
- 現在、個別ダムの検証を進めていますが、国におきましては、県の検討結果を十分尊重していただき、速やかに補助金交付等に係る対応方針の決定を行っていただくよう要望します。

【政策提言の理由】

- 高知県は、地形が急峻で、かつ全国有数の多雨地帯であることから、洪水が山地から海まで一気に流れ下り、下流部の川沿いに開けた平野は水害を受けやすい地形であり、年平均水害被害額は、全国平均の9倍と全国1位となっています。
- 河川の整備率は、全国でも最下位クラスであり、河川の整備が遅れています。

(参考：高知県の場合)

- ・県庁所在地（高知市）における年平均降水量：2,561mm（全国平均1,617mm、全国1位）
- ・年平均水害被害額：39.0百万円／千人
（全国平均5.0百万円／千人、全国1位、平成7年度から平成21年度の15年平均）
- ・河川整備率：37.4%（全国平均46.0%、全国40位、平成21年度末）

【高知県担当課】 土木部 河川課